



授業、再開しました！

40日間の夏休みが終わりました。それまでの定時制教室前の廊下の静けさが一変し、生徒たちの笑いが聞こえたり勉強に取り組む姿を見ることができ、学校生活が戻ってきたことを実感しました。生徒の皆さん、夏休みはどのように過ごしましたか。全日制では、野球部が8年ぶり17回目の甲子園出場を果たしてくれました。テレビ等で応援してくれた人もいらっしゃると思いますが、12日(水)の初戦で千葉県代表の拓殖大学紅陵高校と対戦しました。残念ながら0対1で敗れましたが、試合後の監督さんのコメントに「佐賀商業高校らしい試合はできた」とありました。今回の結果のように何事もうまくいく事は多くないと思いますが、自分らしくあるということはとても素晴らしいことだと思います。生徒の皆さんも自分の将来を見つめるとともに、「自分らしくある」とはどういうことなのか、ちょっと考えてみませんか。

○「夏季休業明け開講式を行いました」

8月27日(木)に開講式を行いました。どの生徒さんも元気な姿を見せてくれ、どこことなく顔つきもこの夏休みで成長した雰囲気が見て取れました。7月の閉講式の際に校長先生から「小さなことでも良いから挑戦してほしい」とのお言葉がありましたので、開校式の際に聞いてみたところ4人ほどが手を挙げてくれました。恥ずかしさから手を挙げられなかった生徒さんもいたかもしれませんが、9月以降も未来の自分を意識しながら学校生活を過ごしてほしいです。その後、教務、生徒支援及び進路支援の先生方からお話いただき、最後は身だしなみチェックをして閉じました。



○「小さな善い行い」

先日、京都の会社にお勤めの方から学校にお電話いただき、次のようなことを報告いただきました。佐賀商業の近くにお住まいで、自身は京都にある会社の会長でいらっしゃる方が、野球部をはじめ全日制生徒さんが定期的に学校周辺のごみ拾いボランティアをしたり、近隣の方々に元気よくあいさつしたりしている姿を見てとても感心され、「このように頑張っている佐賀商業高校だから甲子園でもぜひ頑張ってもらいたいし、このような生徒さん達を応援していきたい」と会社の全職員の前でお話しされたそうです。これを聞かれた従業員の方が、この事をぜひ学校にお知らせしたかったということで、わざわざ電話をいただきました。

○「全国放送コンテスト報告」

7月21日（火）～23日（木）で「第73回NHK杯全国高校放送コンテスト」が国立オリンピック記念青少年総合センター及びNHKホールで開催され、本校からアナウンス部門とラジオドキュメント部門に出場しました。県大会終了後も生徒は休日等に登校し、レベルアップを図り全国大会に臨みました。アナウンス部門には全国から294名が参加、準決勝に進出できる60名の枠を目指して初日の審査が行われました。ラジオドキュメント部門には全国から185作品がエントリーし、こちらは準決勝進出枠は40作品でした。

両部門とも残念ながら準決勝に進出することはできませんでしたが、佐賀県代表及び佐賀商業高校の代表として立派に取り組んでくれました。今回の経験を今後の学校生活でも生かしてほしいです。全国大会、大変お疲れ様でした！



○「全国定通体育大会報告」

8月15日（土）・16日（日）に「全国高等学校定時制通信制体育大会陸上競技大会」が江東区夢の島競技場（東京）で開催され、本校から1名が女子円盤投げで出場しました。県選手団として事前に2回、合同練習会を行い、自己ベストを目指して大会に臨みました。今年度から熱中症対策として競技が夜間に実施されるようになりましたが、あいにく大会時は小雨降る中での競技となりました。その影響もあってか、記録



も思うように振るわず、残念ながら予選敗退という結果に終わりました。目標達成のため、限られた時間の中ではあったものの努力を積み重ねたことと思います。その取組みに拍手を送るとともに次の機会での頑張りに期待しています！

○「日常に感謝の気持ちを」

7月28日（火）に発生しました「令和8年熊本地震」によりお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、ご家族の皆様にご心よりお悔やみ申し上げます。また、被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。被災地の1日も早い復旧と、被災された方々が1日も早く平穏な日々を取り戻されることを心よりお祈り申し上げます。本校においては、地震による被害はありませんでしたが、現在、水道トラブルにより校内の水道蛇口からの飲水ができない状況にあり大変ご迷惑をおかけしています。また、それに伴い給食も当初メニューからの変更を余儀なくされ、水道を使用しないで済む代替メニューでしのいでいます。間もなく復旧し、今までの給食スタイルに戻りますが、生徒の皆さんにはそれまで心待ちにしてもらいたいとともに、今までの日常がいかに恵まれていたかを再認識し、日々の生活や小さな幸せに感謝の気持ちを持ちながら学校生活を過ごしてほしいと思います。